

情報や考え方などを英語で表現し、伝え合う力を身に付ける

福知山市立日新中学校 第3学年
 単元名 PROGRAM8
 Clean Energy Sources
 (Sunshine English Course3)

「英語で表現し、
 伝え合う
 力とは？」

小学校外国語活動

自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を使って、相手に配慮しながら、伝え合う力

小学校外国語

身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを伝え合う力

中学校外国語

日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や表現を、選択したり抽出したりするなどして活用し、話したり書いたりして事実や自分の考え、気持ちなどを表現する力

高等学校外国語

日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分自身の考えなどを適切に表現する力

本時の展開 (8/9)

過程	指導内容	学習活動	学習形態	指導上の留意点	教材・教具	評価 (評価の観点) (評価方法)
導入 5分	○目標及び内容の把握	○学習のねらいや活動について理解する。	一斉	○ALTのビデオレターの要点を捉えさせるとともに、学習課題における到達目標を明確にする。	映像	
		地域の特色を生かした発電方法のよさについて、自分の考えを書こう				○与えられた話題について、自分の考えをまとまりのある文章で書くことができる。(外国語表現の能力) (ワークシート、後日のライティングテスト)
展開 40分	○考えの形成 [1]	○自分の考えを書く。	個別	○地域の特徴と発電方法の対応関係に着目して考えるようにさせる。	ワークシート	
	○考えの形成 [2]	○集団としての考えを書く。	グループ	○提示した形式に則って、内容的につながる文章を書くことができるようにする。		
	○意見の交換	○他のグループと考えを伝え合う。	ペア	○やり取りを通じて互いの意見を理解することができるよう、対話の流れや方向性を示す。		十分満足できると判断される状況
				○聞き手の理解を確かめながら話したり、相手が言ったことを共感的に受け止める言葉を返しながらかき聞いたりするようにさせる。		○論点を明らかにしたり、順位付けを行ったりするなど、読み手にとって読みやすい文章が書ける。
	○考えの再構築	○改めて自分の考えを書く。	個別	○やり取りした内容を参考にして自分の考えを再構築し、文章を推敲するようにさせる。		努力を要する状況への手立て
				○習熟の程度に応じて、文章を書くための様式を自らが選択できるような工夫を行う。		
まとめ 5分	○振り返り	○自身の学びや変容について記述する。	個別	○自分の力で書くことができたかという視点を与える。	ワークシート	○手本となるような文章を例示し、その表現を活用したり入れ替えたりしながら書き方を学ばせる。
	○次時の予告	○プレゼンテーションの方法について知る。	一斉	○互いの書いた文章を伝え合い、分かりやすい展開や構成を考えてグループとしての意見にまとめ、プレゼンテーションを行うことを伝える。		

① 導入の工夫

「地域の特性のよさを生かした発電方法についてALTにプレゼンテーションする」というコミュニケーションの目的や場面を明確に設定し、到達目標を生徒と共有することで、生徒自らが学習の目標を理解し、主体的に学ぶ授業づくりにつなげる。

② 自力思考(表現)の場の工夫

習熟の程度に応じたワークシートや教科書の英文を活用し、まずは自分の力で英文を作成させることで、主体的に課題に向かう生徒の育成を目指す。

③ 考えを伝え合い、学び合う場の設定

「個人→対話(ペア・グループ)→気付き→個人(よりよいものに修正)」という学習形態により、他者の表現から新しい表現を見だしたり、自分や他者の表現を統合し、より豊かな表現へと再構築させる学習過程で、思考し、表現できる力を養うことを目指す。

④-1 学びを確かなものにする場の設定

「聞いて話す」「話して書く」など、「聞くこと」「話すこと」「書くこと」を効果的に組み合わせた言語活動によって4技能5領域を総合的に身に付けることを目指す。

④-2 学びを確かなものにする場の設定

修正前と後の文章を比べることで、自分の表現の変化を確認し、より深まりのある表現方法に気付かせる。

⑤ 振り返りの質の向上

めあてに対する振り返りを行う。目標が達成できたかについて詳しく記述させることで、次の目標につなげることができる。学びの深化を自覚し、確認することが主体的な学びにつながる。

中丹の1時間
授業スタンダード

①導入の工夫

②自力思考(表現)の場の工夫

③考えを伝え合い、学び合う場の設定

④学びを確かなものにする場の設定

⑤振り返りの質の向上